

こんにちは
中村れい子です

プロフィール

1954年、高槻市生まれ。京都精華高校卒。あらぐさ共同保育所など14年、その後高槻民商勤務。現在/市議5期。党市議団々長。農業委員。趣味/美術館めぐり(絵画・陶芸など)

日本共産党



中村れい子

市会議員になって20年、農業委員は16年になります。第2名神の建設が大阪府で決められようとしているときに、市会議員の候補者になり大気汚染など環境問題を勉強しながら、みなさんととりくんできました。第2名神の問題点を追及してきた20年でもありました。道路公団の巨額の借金で、いったんは計画がストップしていたのですが、道路公団を民営化し、借金の一部を税金で肩代わりするなどで、計画はまた動きだし、高槻―神戸間は2年後に完成予定です。市の負担で第2名神のアクセス道路の建設は、国の補助はありますが市の財政負担は大きいです。環境も悪くならないように、これからもとりくんでいかなければと心新たにしています。

私は母親を小学校4年で亡くし父親に育てられました。父は精いっぱい努力したのですが、至らない点も多く経済的にも大変でした。

貧困の連鎖を断ち切るために、子どもには責任のない家庭環境に左右されないよう、自立するための支援をするべきです。それが政治の責任だと思います。

だれもが胸をはって
生きていける社会を

プロフィール

1947年生まれ。瀬戸の島、上関町で母に育てられる。熊毛南高校、京大卒。府議(6期)。現在/党府議団々長。趣味/読書 歴史、時代もの、マンガなんでも 人生の目標/ささやかでも明るい社会

大阪府議会議員

宮原たけし



宮原たけしが、府議会ではじめて取り上げてきた主なもの

1990年代前半

- 環境基本条例に環境権を明記させたこと。
- りんくうタウン事業の見直し(今日まで約4000億円の損失を出す)

1990年代後半

- 大型開発より、くらし・福祉・生活密着型公共事業を。
- 老人医療無料化制度守れ。
- 関西空港2期工事の中止。
- 淀川上流などの、水道水用ダムの中止と府卸売り水道料金値下げ(2回)。
- ノック知事のセクハラや大阪府の不祥事の追及。

2000年代から今日まで

- 正規雇用の拡大、2013年からはブラック企業対策や最低賃金引き上げ。
- 三島救命救急センターへの府補助削減ストップの

署名運動。

- 子ども・障がい者・1人親医療費補助制度を守る。
- 子どもの貧困の連鎖と高校教育(大阪の中退や部活動などのデータは本にもなりました)。
- 1年間雇用の講師教員を正規の教員に。
- 長周期地震動(長く、ゆっくり揺れる)など地震対策。
- 地震に弱いWTC買い取り反対。
- 政務活動費問題など政治と金を追及。議員の給料カット、政務活動費のホームページでの公開。
- セクハラやパワハラで外部相談窓口設置。女性や子どもを性犯罪から守る。
- 維新の会の政治と全面的に対決、福祉・文化・河川改修などで成果も。

発行:日本共産党高槻市会議員 中村れい子
事務所/☎569-1114 高槻市別所中の町3-7
0681-84800
自宅/古雷部町2丁目15-8-606
0686-5006000

子育て支援、自然や農業を守る、元気な高齢者への支援など全力



中村れい子の
4年間取組んできたこと



貧困の連鎖を断ち切る取り組み

・就学援助制度の拡充を

保護者の収入が一定以下なら義務教育の費用が補助されます。高槻市では中学校で約20%、小学校で約16%の子どもが受けています。しかし、修学旅行の費用は全額補助から、限度額が設けられ、それ以上は自己負担になります。小学校では7割の学校が限度額を超えています。修学旅行は教育課程では特別活動に位置付けられています。教育

上必要な全額支給に戻し、クラブ活動費も対象にする必要があります。

自然と山を守るために、 間伐材の利用を

高槻市の山林所有者は、半数以上が小規模の所有者ですから、山林の整備は難しいです。高槻産木材、間伐材の利用を増やすために、山から木を運び出す道を整備することも必要です。私は、2012年3月、2014

年6月議会で取り上げてきました。間伐材の35%は、製材として利用されており、一部は小学校のランチルームで使用しています。また、高槻のバス停でベンチとして利用されています。もつと公共施設で利用できるようにすることが必要です。

高齢者を社会的に孤立させない

- ・市バスを守り、敬老パスの継続を
- ・声かけ見守り活動に支援を

昨年12月議会で、敬老パスの経済的効果について質問しました。名古屋市では、補助額の2・5

社会福祉協議会が補助をし、地区の地区福祉委員会が実施しています。

倍の経済効果があると検証の結果が出ています。高槻市では、介護認定が大阪府平均より4・7%低く、介護費用の抑制効果があります。また、敬老パスの利用で外出の機会が増え、歩くことで健康になり、医療費の抑制効果もあります。高槻市でも検証することを求め、市は検討するようになりました。

高齢者の方への訪問、見守り支援があり大変大事な活動です。この活動に参加される人が増えるように、市としても支援をすることが必要と求め、市は積極的に支援するようになりました。

・ゴミ出しなどの支援

軽度の認知症では、ゴミ出しの日を間違えて問題になっていきます。また、ゴミ集積場所まで持つ

市バスができて61年、敬老パスは43年になります。守るためにこれからもがんばります。



▲日吉台バス停のベンチ

ていくことができないという声もあります。介護保険の対象にならない状態で援助が必要な人への軽度生活援助員の派遣やヘルパーさんに持ち返ってもらうなど、対策が必要です。

